

# 30P1-am009

トマト摂食後の代謝尿について

○周 建融<sup>1</sup>, 緒方 敬子<sup>1</sup>, 中島 弥穂子<sup>1</sup>, 眞鍋 秀雪<sup>1</sup>, 横溝 和美<sup>1</sup>, 野原 稔弘<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>崇城大薬)

【目的】トマトサポニン(esculoside A)を圧倒的主成分として含むミニトマトを摂食後、その代謝尿を男性において検討したが、今回は成人女性において、その代謝尿におけるステロイド成分の検索を行った。

【実験】成人女性 (20-25 歳) 5 名にてミニトマト 600 を摂食後、12 時間尿を採集し、Diaion カラムに付し、H<sub>2</sub>O→MeOH→acetone で順次流し、MeOH および acetone eluate は合し、逆相、順相 silica gel column chromatog. を繰り返す、ステロイド成分 M-2 を得た。

【結果】M-2 は androstenol と etiocholanolone の混合物の 3-O-β-D-glucuronopyranosyl acid と判明した。これは blank には認められないのでトマトサポニンが Chart 1 に示すような経路で本化合物まで代謝されたものと推定された。

